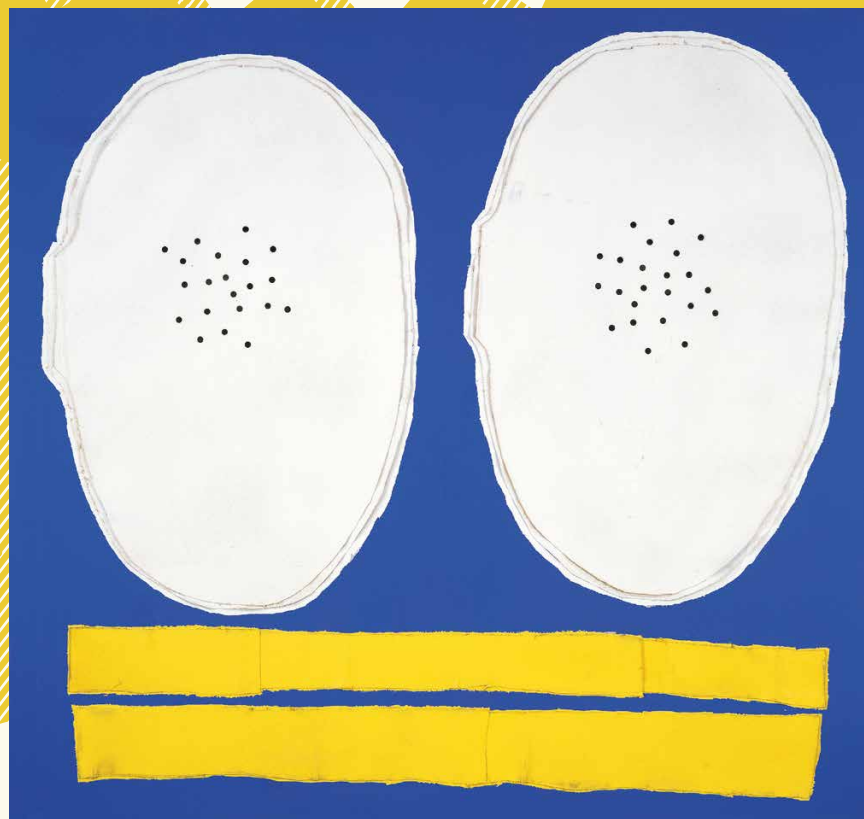


福岡県立美術館コレクション展

びびびびと!

— 感覚で楽しむ美術鑑賞ガイド —



古川吉重《無題》1971年

2024.

5.18^土_{SAT} ▶ 6.16^日_{SUN}

九州芸文館 教室工房 1・2

開場時間：10:00～17:00(入場は16:30まで)

休館日：月曜日

観覧料：一般 210円(170円)

※()内は20名以上の団体料金

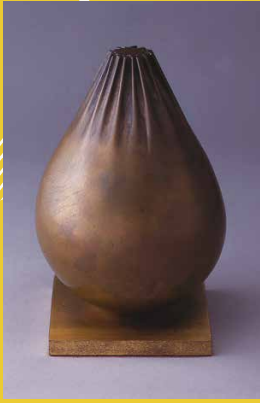
※高校生以下、65歳以上の方、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方およびその介助者、教職員引率による高校生以下および引率は無料

主催：九州芸文館美術展実行委員会

九州芸文館

KYUSHU GEIBUN-KAN

みなさんは作品を鑑賞するとき、どんなところを見ていますか？



菊畑茂久馬《水囊・水のかたち》1987年

私たちは普段、作家の経歴や作品の背景などの様々な情報とともに作品を鑑賞しています。これらは作品を読み解くうえで大切な要素ではありますが、もっと単純に、色や形、そして作品を見た時の第一印象から「**何をしている場面？**」「**どんな音が聞こえる？**」「**味や匂いは？**」などなど...想像を膨らませて鑑賞することも、作品を楽しむ方法のひとつです。

本展では、「**観るってどういうこと？**」「**どれが好き？**」の2章で構成しています。作品と向き合うためのヒントを得たあとは、自分の感覚を頼りに自由に作品を見てみましょう。「**これが好き!**」と思える作品に出会えるかもしれません。会場内はゆっくりと作品をご覧ください。クッションなどを設置し、大人から子どもまで、普段あまり美術館に行かない人でも美術を身近に感じていただける空間となっています。いつもとは違った視点から作品の魅力に触れてみませんか。

びびびびと！とは？

- **び(美)**... 美術
- **ビビッド(vivid)**... 生き生きとしているさま。強烈・鮮やかなさま。
- **ビビと**... 直観的に対象物の魅力を感じるさま。

「**ビビと**」くる「**び(美)**」術作品にであう展覧会。
今まで気付かなかった作品の魅力を発見することで、
世界がもっと「**ビビッド(鮮やか)**」に見えてくるかも!?



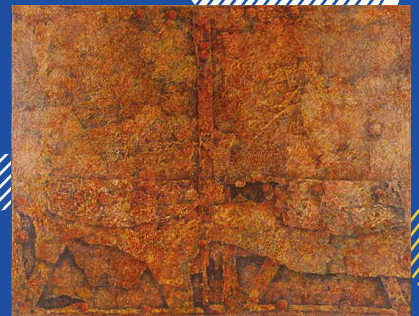
高島野十郎《太陽》1961年



伊藤彰耳《春ふたたび》2011年



坂本善三《風》1985年



古賀耕児《扉》1969年

関連イベント

アクロス・ミュージアムコンサート

出演：弓場さつき(オカリナ)／加藤優太(ギター)

日時：6月2日(日)

第1部：13:30～14:00／第2部：15:00～15:30

会場：エントランス・ギャラリー

主催：(公財)アクロス福岡／九州芸文館美術展実行委員会

参加無料／申込不要(※先着順)

学芸員によるギャラリートーク

学芸員が展覧会の見どころをお話します。

日時：5月25日(土)14:00～(30分程度)

会場：展覧会場

参加無料(※ただし本展観覧券が必要です)／申込不要

交通案内

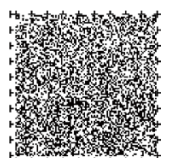
鉄道(JR)：九州新幹線「筑後船小屋」から徒歩1分
鹿児島本線「筑後船小屋」から徒歩1分
西鉄バス：50番(久留米-船小屋)「筑後船小屋駅前」から徒歩1分
九州自動車道：「八女IC」から約10分、「みやま柳川IC」から約15分
駐車場：103台(2時間まで無料／以降1時間毎に100円)

お問合せ

九州芸文館(筑後広域公園芸術文化交流施設)
〒833-0015 福岡県筑後市大字津島1131
TEL：0942-52-6435
URL：<https://www.kyushu-geibun.jp>



Uni-Voice



このマークは、目が不自由な人などが使う音声コードです。